

カンボジア

2019

通信 vol.17

カンボジア通信は河合塾
グループの社会貢献活動
「カンボジア教育支援活動」
が発行する機関紙です。

活動報告① 支援物資仕分けを行いました！

12月8日、河合塾千種校(名古屋市)で、カンボジアへ贈る文具の仕分け・梱包作業を行いました。全国の河合塾校舎・教室を通して寄せられた善意の想いを感じながら、荷物を一つひとつ開封。今年も昨年と同様たくさんの文具が集まり、河合塾スタッフ、河合塾COSMO名古屋校の塾生、小学生のお嬢さまと参加いただいた市民ボランティアの方と一緒に作業を行いました。

はじめに、2月にカンボジアへ視察に行ったスタッフの報告会を行いました。現地で撮影した映像を見ながら、支援先の様子や、カンボジアの生徒が日本からの文具をどんなに待ち望んでいて、大切に使用しているかを共有しました。その後、ノートやメモ紙はサイズ別、ペン類は書けるかどうかを確かめるなど、文具の仕分けを行いました。

12月10日、支援物資は名古屋港を出発し、1月31日、カンボジア-日本友好学園に到着。全校生徒が校庭に集合し、文具を迎えてくれました。文具は近隣の学校にも提供され、学園代表のコン・ボン氏より感謝の言葉と、学校の生徒達からお礼の手紙をいただきました。最後に、今年も無事カンボジアへ文具を贈ることができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

Sorting
Support goods

活動報告② 「国際協力オープンキャンパス」を開催しました！

International
events

平成最後の夏、8月18日にグローバルに活躍したい高校生・高卒生を対象に、大学やNPO団体で活躍する学生らと交流する「国際協力オープンキャンパス」を河合塾 横浜校で開催しました。当日は発展途上国での国際協力活動を行う12の団体と河合塾がブースを出展し、各々の活動や現状の課題、取り組み思いなどを発表し、活気のある雰囲気。大学生が多く参加していたこともあり、国際協力活動だけでなく、大学生活について話をうかがうことができました。参加者からは、「高校生・大学生が主体となって自分たちで活動を作り上げているのがすごい」「カンボジアでの体験を聞いてよかった」「大学で学びたいことを見つけ、入試まで頑張りたい」などの感想をいただきました。河合塾で20年間継続しているカンボジア教育支援活動を通じて、これからも国際協力に触れる機会やグローバル社会で活躍される方々の交流の場、海外留学を身近に感じられる機会を提供していきたいと思えます。

海外の 事を知る

2018年2月、支援活動スタッフ2名が、河合塾が支援する「カンボジア-日本友好学園」の物資活用状況やニーズ調査のため視察に行ってきました。そこで見つけたカンボジアの魅力を、複数回に分けて現地レポートとして報告します。
今回はシリーズ第3回。友好学園の生徒と先生に聞いてみました。

Students' voice

日本との違いは
あるかな？

生徒に
質問！



Question

1 好きな科目は？

1位:化学 3位:生物
2位:物理 4位:数学
みんな理系科目が好きな様子。

Question

2 好きなスポーツは？

1位:サッカー (男女とも)
2位:バスケットボール (女子のみ)
球技が得意なんですね。

Question

3 将来の夢は？

1位:教師
(特に化学・生物の教師が人気！)
2位以下は医者、警察官、エンジニア、
会計士、建築士…etc

Question

4 宿題は多い？

とても多い！ (回答多数)
こうした苦勞は日本と変わらない様子
ですね。



Teachers'

先生に
質問！

日本からの物資で 人気のものは？

チョーク！ (回答多数)
日本製のチョークは質がよいため、
書きやすく、消しやすいようです。

視察スタッフより

カンボジアの高校生で驚くのは、みんな自分のなりたい姿をハッキリ堂々と言うところ。また、理系科目がみんな好きなんですね！ 宿題は毎日大変そうでした…。

会計報告

募金は全国の校舎・教室で収集しています。
(※2019年1月現在までを記載)

■ 収入(募金)

2018年度 381,449円

■ 支出

(5月) 教育支援物資カンボジア国内輸送費 514,463円



<https://www.kawaijuku.jp/jp/sr/contribution/cambodia/>

お知らせ

引き続き支援物資を募集しています。(詳細はQRコードへ↑)

KAWAIJUKU

河合塾グループはカンボジアの日本友好学園をはじめとするブレイベン州の小中学校へ中古の机、椅子、文具などを寄贈する教育支援と、交流によって両国の人材育成に寄与する活動を行なっています。